

環境クリーン部長目標

環境クリーン部長 安藤 善雄(あんどう よしお)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

2050年までのゼロカーボンシティ実現に向けて、CO₂の排出量が少ないエネルギーの効率的な利用、CO₂の吸収源となるみどりの保全・創出、ごみ処理時のCO₂削減につながるごみの減量・資源化などを進めます。

環境クリーン部の仕事

環境クリーン部は、マチごとエコタウン推進課(ゼロカーボンシティ推進室)、環境対策課、生活環境課、みどり自然課、資源循環推進課(一般廃棄物最終処分場整備室)、東西クリーンセンター及び収集管理事務所の8課2室で構成され、地球温暖化対策、公害対策等の環境施策、生活環境の向上対策、みどりの保全・創出と廃棄物処理施策の推進を主な仕事としています。

環境クリーン部の令和5年度の目標

環境クリーン部は、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に掲げる将来像「“人と人”人と自然」との絆で、子どもたちの未来を紡ぐ「エコタウン所沢」の実現を目指すとともに、2050年までに市域の二酸化炭素排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現に向けた各種施策を実施します。

具体的には、

- ・再生可能エネルギー及び省エネルギーを推進することによる脱炭素社会の構築
- ・人と自然との共生に向けた、みどりの保全・創出
- ・循環型社会の形成に向けた、ごみの減量・資源化
- ・健康で安心して暮らせる環境づくり
- ・魅力的でいつまでも住み続けたい環境づくり
- ・市民や事業者とともに実践する環境づくり

に取り組み、みどりあふれる持続可能なエコタウンにしていきます。

併せて、これらの取り組みを通じて、持続可能な世界を実現するための国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)に貢献します。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	マチごと脱炭素社会の推進	ゼロカーボンシティの実現に向けて、再エネ利用の推進や温室効果ガスの排出削減につながる取り組みを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の審議を通じて、マチごとエコタウン推進計画を改定し、脱炭素化に向けた取り組みを推進します。 ・再エネ利用をさらに推進するため、公共施設や住宅への導入に向けた取り組みを進めます。 ・市民や事業者等の創エネ・省エネ機器等の導入や住宅性能の向上に対する支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会を4回開催し答申を受けて、マチごとエコタウン推進計画の中間改定を行いました。今後、計画の改定版及び脱炭素ロードマップに基づく施策を進めていきます。 ・第2学校給食センターにPPA方式(電力購入契約)により太陽光発電設備を設置する事業計画が市議会で議決されました。今後計画に基づき事業を進めていきます。 ・公共施設16施設に対する太陽光発電設備及び蓄電池を設置する事業計画が市議会で議決されました。今後計画に基づき事業を進めていきます。 ・スマートハウス化推進補助金として、家庭用1,466件143,108千円、事業者用2件3,845千円、ゼロ円太陽光9件2,243千円を交付し、合計773tのCO2削減を図りました。
2	人と自然の共生に向けた、みどりの保全・創出	豊かで多様な野生生物を育むみどりを計画的に保全する取り組みを推進するとともに、市街地のみどりの保全や市民協働による緑化活動の推進により、みどりや生物多様性の保全を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なみどりを未来の子どもたちに継承するため、消失するおそれがある緑地等の取得及び保全管理を行います。 ・みどりの基本計画に定める「緑化重点地区」内の低未利用地をみどりのエコスポットとして整備し、まちなかのみどりを創出します。 ・生物多様性を守る観点から、落ち葉溜め等を設置し、自然や生きものへの親しみや関心を高める場づくりを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上山口、中富、北野南二丁目及び若狭二丁目地内の計6筆13,694.95㎡の土地を購入取得しました。 ・北野南一丁目及び二丁目地内の計4筆4,477㎡の土地の寄附受入れを行いました。 ・みどりの審議会を1回開催し、三ヶ島二丁目里山保全地域0.5haを指定拡大しました。 ・北中三丁目及び東狭山ヶ丘一丁目のみどりのエコスポットを整備しました。 ・上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内等の緑地に、落ち葉溜めを計5箇所設置しました。

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
3	循環型社会の形成に向けた、ごみの減量・資源化	大量生産・大量消費・大量廃棄の社会を見直し、3R『ごみの発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)』に基づいた取り組みを推進し、ごみの減量・資源化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進審議会の審議を通じて、一般廃棄物処理基本計画の改訂を行うとともに、ごみ有料化を始めとするごみ減量資源化方策について、効果的な施策の調査・検討を進めます。 ・使い捨てプラスチックごみの発生抑制につながる取り組みを行い、脱プラスチックの促進を図ります。 ・第2一般廃棄物最終処分場の建設に向け、計画通り工事を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進審議会を5回開催し、一般廃棄物処理基本計画改訂に向けて、関連計画に合わせた施策体系への変更や目標指標・目標値の見直しなどの審議を行いました。今後令和6年度に答申を受け、同計画に基づきごみ減量・資源化の取り組みを進めていきます。 ・ウォーターサーバーの利用促進により、ペットボトル換算で約145,000本の削減につなげました。 ・非プラスチック製容器等使用促進補助金制度によって、19件申請があり紙製容器、竹製容器、バイオマスプラスチック容器への転換が図られ、約15,000個の非プラスチック容器に補助を行いました。 ・第2一般廃棄物最終処分場の建設を開始し、造成工事、貯留構造物工事等、基礎となる建設工事を計画通り実施しました。令和7年10月供用開始に向け計画通り進めていきます。

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
4	市民や事業者とともに実践する環境づくり	市民・事業者・市が協働して環境保全に取り組んでいくために、各主体の取り組みを支援するとともに、学校や社会における環境教育・環境学習の充実を図り、みんなで実践する環境づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境推進員と連携し、地域の環境美化・保全活動を推進します。 ・プラスチックごみ問題や脱炭素、SDGs等、時宜を得たテーマに関する出前講座を実施します。 ・気候変動や脱炭素に対し、主体的な環境行動がとれる人材を育成するとともに、環境行動の普及につながる取り組みを支援するなど、環境保全活動を推進します。 ・事業者を巻き込んだゼロカーボン運動を推進するための組織を設置し、取り組みの検討を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境推進員と連携して「環境美化の日」を2回開催し、合計41,192人が参加しました。 ・環境推進員と連携し、「もったいない市」を計31回開催し、リユース・リサイクルを促しました。 ・環境意識の向上や環境配慮行動の実施につなげるため、学校や団体等に対して出前講座を19回延べ1,450人に対して実施しました。 ・地球にやさしい学校大賞受賞校の生徒・児童に対して、こどもサミットを開催し、環境行動の大切さを伝えました。 ・里山保全管理や緑化活動基礎知識習得の講座を開催するなど、みどりのパートナー育成を図りました。(年度末現在:63団体、合計1,659人) ・脱炭素社会に向けた取組を促すため、ゼロカーボンシンポジウムを開催し、185名の市民が参加しました。 ・市内事業者や金融機関が参加した「脱炭素経営ネットワーク会議」を立ち上げました。事業活動から脱炭素化への取組みを検討するため、会議やセミナー、交流会、展示イベントなどを実施しました。